平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名　株式会社 ラ・アトレ　　上場取引所　大
コード番号　8885　URL　http://www.lattrait.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡本　英
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理部門担当　(氏名) 島田　隆浩　TEL 03-5449-2121

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,903	―	14	―	△47	―	△48	―
23年3月期第2四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△48百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　―百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△2,452.60	―
23年3月期第2四半期	―	―

(注)平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,311	242	7.3
23年3月期	―	―	―

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　242百万円　23年3月期　―百万円

(注)平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△26.3	84	―	△37	―	△45	―	△2,293.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ラ・アトレレジデンシャル 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	19,672 株	23年3月期	19,672 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	52 株	23年3月期	52 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	19,620 株	23年3月期2Q	19,620 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3 「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）キャッシュ・フローの状況 ……3
（４）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……6
４．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間……9
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間……10
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（４）継続企業の前提に関する注記 ……12
（５）セグメント情報等 ……13
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……14
（７）重要な後発事象 ……15
５．補足情報 ……16
（１）生産、受注及び販売の状況 ……16
（２）設備投資、減価償却費、研究開発費の推移 ……16

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州における債務不安から急速な円高が進み、景気動向は混沌とした状況となりました。

当不動産業界におきましては、首都圏の新築マンション市場は大手デベロッパーを中心にタワーマンションなどの発売が再開されるなど、供給は徐々に正常化へ向けた状況となりました。また、売れ行きを示す指標の１つである月間契約率も７月が76.2%、８月が69.9%、９月が77.7%と依然として高水準を維持しており、相当程度の需要は維持されている結果となりました。

他方、首都圏中古マンション市場においては、成約件数は震災の影響もあり３月以降７ヶ月連続して前年同月比マイナスが続きました。しかしながら６月以降のマイナス幅は比較的小幅にとどまる結果となりました。その結果、首都圏の中古マンションの成約価格は、やや弱含みで推移したものの、一定の底堅いニーズに支えられ、大きな下落はありませんでした。

このような環境の中、当社は引き続き実需の根強い戸別リノベーションマンション事業に経営資源を集中いたしました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高及び損益に関わる業績は次の通りであります。

①売上高

不動産事業における主な売上実績は、以下の通りとなっております。

（ｉ）新築不動産販売部門では、a）ランドプロジェクト業務においては「等々力一丁目ＰＪ」（東京都世田谷区）２区画完売したことで、売上高159百万円となりました。またセグメント損失は２百万円となりました。

（ⅱ）再生不動産販売部門では、ａ）戸別リノベーションマンション販売業務においてリノベーションマンションを56戸引渡し、b）一棟リノベーション分譲業務において「ラ・アトレ玉川瀬田」（東京都世田谷区）１戸引渡したことにより、売上高1,550百万円となりました。またセグメント利益は35百万円となりました。

（ⅲ）不動産管理事業部門は、管理物件の賃貸収入等により売上高184百万円となりました。またセグメント利益は51百万円となりました。

（注）セグメント利益とは、各セグメントの売上総利益から、販売費用及び営業外費用を差し引いたものであります。

なお、セグメント別売上高の概況は以下の通りであります。

セグメント別売上高の概況　（単位:千円）

セグメント	当第2四半期連結累計期間 （自　平成23年4月1日 至　平成23年9月30日）	構成比
不動産販売事業	1,710,176	87.6%
（新築不動産販売部門）	(159,800)	8.2%
（再生不動産販売部門）	(1,550,376)	79.4%
不動産管理事業部門	184,453	9.5%
その他	56,914	2.9%
合計	1,951,544	100.0%

なお、当第２四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期との比較の記載は行っておりません。

②営業利益

一般管理費については前々期より圧縮を進めてまいりました。当第２四半期連結累計期間の一般管理費は137百万円となり、固定費用の圧縮については一定の成果が出ております。

ただし、震災の発生に伴い、物件の商品化の遅れ、価格調整しての営業活動等により、売上高、利益率の低下等の影響を受けたこともあり、営業利益は14百万円にとどまりました。

③経常損失、四半期純損失

支払利息51百万円、支払手数料11百万円を中心に営業外費用が66百万円となった結果、経常損失は47百万円、四半期純損失は48百万円となりました。

なお、当第２四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期との比較の記載は行っておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間末における総資産は3,311百万円、負債は3,068百万円、純資産は242百万円となりました。

なお、当第２四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前連結会計年度との比較の記載は行っておりません。

（３）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は78百万円となりました。

なお、当連結会計年度の第１四半期連結累計期間より、連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度の記載は行っておりません。

当第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は655百万円となりました。その要因は、税金等調整前四半期純損失47百万円、棚卸資産の減少725百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は1百万円となりました。その要因は、有価証券の償還による収入１百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は663百万円となりました。その要因は、短期借入金の減少445百万円、長期借入金の返済による支出247百万円等によるものであります。

（４）連結業績予想に関する定性的情報

当社は東日本大震災の影響によって住宅設備機器等の納入状況や消費者の購買動向の変化の影響を精査していたため、平成24年３月期の業績予想を公表しておりませんでした。

第２四半期連結累計期間の業績は、震災の影響で来場者数が減少するとともに、旧耐震物件を中心に価格が不安定になったころもあり、売上高は1,951百万円、営業利益は14百万円、経常損失は47百万円、当期純損失は48百万円となりました。

しかしながら現在では震災の影響も落ち着きをみせてきており、また下半期においても一般管理費の更なる削減を予定していることなどから、今期の業績予想は売上高4,000百万円、営業利益84百万円、経常損失37百万円、当期純損失45百万円となる見込みであります。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結累計期間より、前連結会計年度末において当社の非連結子会社であった株式会社ラ・アトレレジデンシャルを連結の範囲に含めております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、前事業年度において当期純損失を341百万円計上いたしました。また、当第２四半期連結累計期間において48百万円の四半期純損失を計上した結果、当第２四半期連結累計期間における次期繰越利益は338百万円のマイナスとなっております。また、当第２四半期連結累計期間末における現預金残高は83百万円と、第１四半期連結累計期間末からは20百万円増加しているものの、前事業年度末からは５百万円減少しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

前事業年度における損失の原因は、一部の高額帯物件である棚卸資産の処分及び低価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）の適用に伴う損失（172百万円）、キャッシュ・フロー獲得のための固定資産売却に伴う特別損失（51百万円）などの一時的な損失が中心であり、高額帯物件については、低価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を適用した４物件のうち３物件はほぼ簿価に近い価格で当第２四半期連結累計期間において引渡し、処理はほぼ完了しました。

事業面においては、平成23年６月28日から当社子会社の株式会社ラ・アトレレジデンシャルの経営体制を刷新し、仕入・販売体制を再構築いたしました。また、内装・賃貸・案件開発・経営管理等、全社的に業務運営体制も見直し、人員の最適化と全般的なコスト削減にも取り組んでおります。

金融機関との関係も引き続き非常に良好な状態が続いており、返済期日の延長をしている担保物件の売却が借入額を下回った案件において当該残債の返済について柔軟に対応いただいているほか、当社の財務状況に応じた返済条件の変更等にも応じていただいております。

以上により、当社は、現時点では継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に重要な不確実性は認められないと判断しております。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	83,812
売掛金	8,909
販売用不動産	582,286
その他	32,452
貸倒引当金	△900
流動資産合計	706,560
固定資産	
有形固定資産	
建物	1,146,141
土地	1,388,865
その他	7,739
有形固定資産合計	2,542,746
無形固定資産	
その他	2,736
無形固定資産合計	2,736
投資その他の資産	59,326
固定資産合計	2,604,809
資産合計	3,311,369
負債の部	
流動負債	
買掛金	84,970
短期借入金	683,600
1年内返済予定の長期借入金	497,603
未払法人税等	1,160
その他	69,216
流動負債合計	1,336,550
固定負債	
長期借入金	1,534,750
引当金	20,102
その他	177,117
固定負債合計	1,731,969
負債合計	3,068,520

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部	
株主資本	
資本金	319,515
資本剰余金	263,813
利益剰余金	△338,872
自己株式	△1,607
株主資本合計	242,849
純資産合計	242,849
負債純資産合計	3,311,369

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	1,903,973
売上原価	1,687,495
売上総利益	216,478
販売費及び一般管理費	201,887
営業利益	14,590
営業外収益	
受取利息	56
受取配当金	163
雑収入	442
賞与引当金戻入額	1,500
消費税免除益	2,020
営業外収益合計	4,183
営業外費用	
支払利息	51,572
支払手数料	11,386
その他	3,754
営業外費用合計	66,713
経常損失（△）	△47,940
税金等調整前四半期純損失（△）	△47,940
法人税、住民税及び事業税	180
法人税等合計	180
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△48,120
少数株主利益	－
四半期純損失（△）	△48,120

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△48,120
その他の包括利益	－
四半期包括利益	△48,120
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,120
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△47,940
減価償却費	28,420
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,850
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,500
受取利息及び受取配当金	△219
支払利息	51,572
支払手数料	11,386
売上債権の増減額（△は増加）	△1,703
たな卸資産の増減額（△は増加）	725,292
仕入債務の増減額（△は減少）	△49,873
未払消費税等の増減額（△は減少）	△2,009
その他	△9,697
小計	701,878
利息及び配当金の受取額	219
利息の支払額	△46,618
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△359
営業活動によるキャッシュ・フロー	655,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	
積立預金の預入による支出	△8,050
積立預金の払戻による収入	7,350
有価証券の償還による収入	1,999
貸付けによる支出	△1,000
貸付金の回収による収入	787
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△445,760
長期借入れによる収入	32,000
長期借入金の返済による支出	△247,213
リース債務の返済による支出	△2,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△663,600
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△7,394
現金及び現金同等物の期首残高	86,262
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	44
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,912

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	新築不動産販売部門	再生不動産販売部門	不動産管理事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	159,800	1,550,376	184,453	1,894,629	9,343	1,903,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	47,570	47,570
計	159,800	1,550,376	184,453	1,894,629	56,914	1,951,544
セグメント利益又は損失（△）	△2,325	35,925	51,773	85,373	49,402	134,776

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム事業、仲介事業、損害保険の代理店事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	85,373
「その他」の区分の利益	49,402
セグメント間取引消去	△ 42,053
全社費用(注)	△ 140,663
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△47,940

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は記載しておりません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

５．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

①不動産販売事業における当第２四半期までの契約進捗状況

（ｉ）契約高及び契約残高（受注高及び受注残高）

（単位：千円）

当第２四半期	
平成24年３月期　第２四半期 （自　平成23年４月1日　至　平成23年９月30日）	
契約高	契約残高
1,638,818	73,003

（注）上記の金額には、消費税は含まれておりません。

（ⅱ）契約進捗率　（単位：千円）

当第２四半期　売上計上分	1,710,176
当第２四半期　契約済売上計上予定分	73,003
合　計	1,783,179

（注）上記の金額には、消費税は含まれておりません。